

交通安全

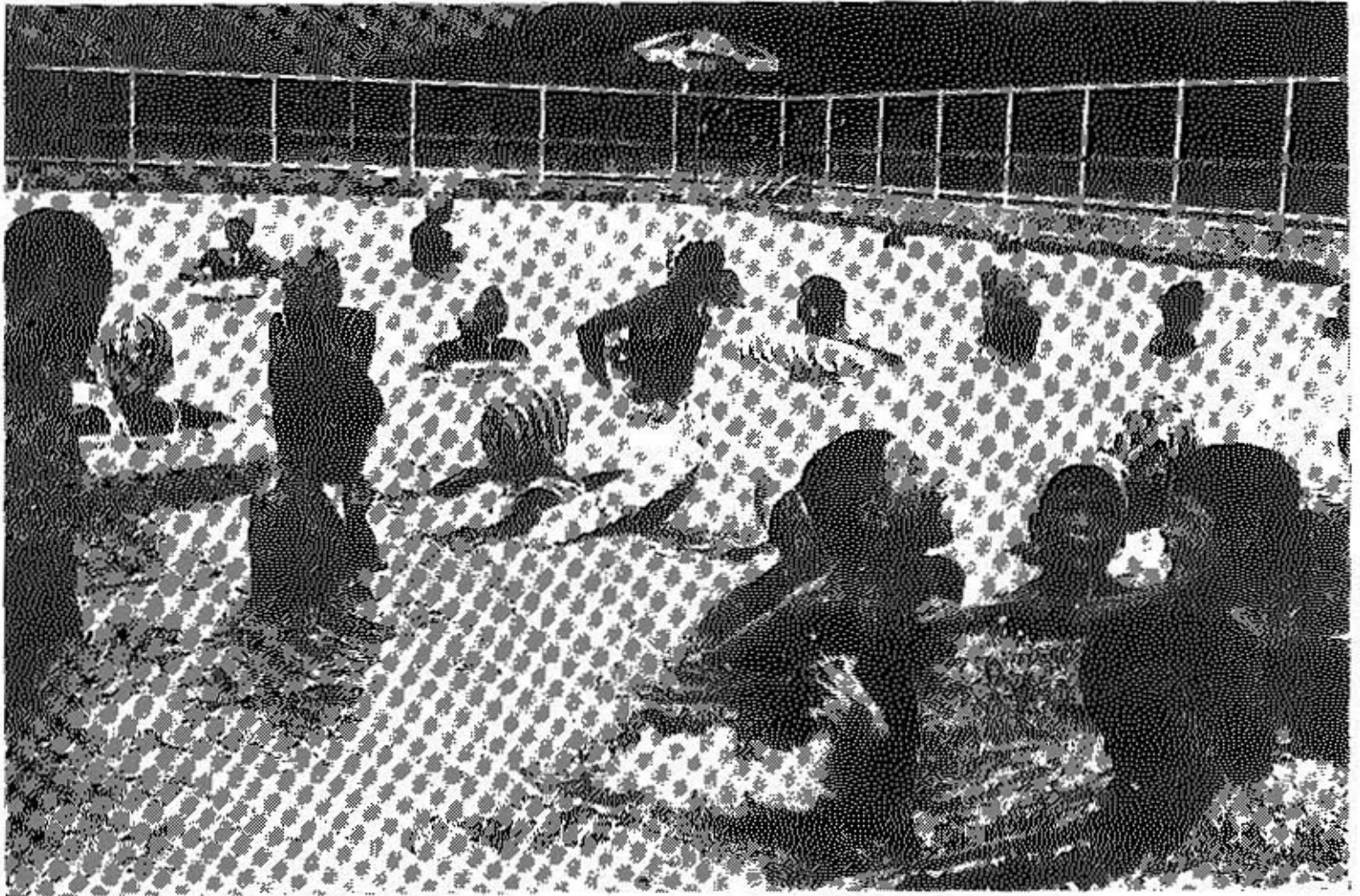
宣言都市

青少年愛護

かつやま

市 広 報

発行人 梶井隆雄
編集長 山内英山
印刷所 山内印刷



山の子もカツパ天国

鹿谷、平泉寺小のプール完成

夏、夏、夏、
毎日続く猛暑、
でも、夏こそ子どもたちの季節
です。
冬の間にひっそりと身をひそめて
いたプールも今はキラキラ光る
太陽と青い水、そして日焼けし
た子カツパの天国。

教育施設の充実は市の主要施策
の一つで、学校プールもその様に
そつて毎年二基つつ新設されてい
ます。ことしは鹿谷と平泉寺小学
校のプールが完成しました。これ
で市内小中学校十三校中、九校に
プールができ、あと二、三年で全
部の学校にプールが設置され、市
民皆泳の時代も間近かです。

(写真は、新しいプールにはし
やく子どもたち…鹿谷小プー
ルで)

9月20日は

家庭の日



着々進む財政再建

借金の超過返済額 1,400万円

市の台所状況

市では毎年2回「市の台所」状況を年度決算の状況および、財政再建計画のお知らせしていますが、今回は昭和44年度決算の状況および、財政再建計画の実施状況を公表します。

◆一般会計決算の状況

昨年十二月に公表しました九月末の一般会計予算額は十三億七千七百五十七万円でしたが、その後四回追加補正をしたので最終予算額は十五億千六百八十八万円となりました。この予算に対する収支決算は収入済額十億四千六百万円支出済額は十五億八百八十万円で差引不足額(赤字)四億六千二百八十万円は昭和四十五年度の歳入を繰り上げて充用しました。

各款別の収支決算状況は第一表性質別決算の状況は第二表のとおりです。前記の四十四年度末の赤字は前年度末に比べ四千三百八十二万円減少していますが、これは財政再建計画に従って赤字の解消をしたためです。また四十四年度だけの単年度の実質収支は赤字解消額と財政調整積立金の増加分で四千七百九十万円の黒字となりました。

市税の収入額は前年度に比べ、十五、六パーセント増加し、収入率は九十七、七パーセントと順調であり市民のみなさんのご協力によるものと深く感謝しています。

(第三表)

その他国、県支出金などについても適正な収入に努めたため予定どおりの決算となりました。

支出の面では、冗費の節減や事務効率化をはかる一方、積極的に公共施設の整備拡充に努めたので次のような事業が実施されました。一、都市計画(俣川下水路、長山公園、北谷線外街路築造)

- 二千九百四十二万円
- 二、道路舗装、改良 四千四百八十四万円
- 三、河川水路改良 七百五十三万円
- 四、北保育所改築 一千百十四万円
- 五、レントゲン車購入 千六百三十万円
- 六、産業振興(土地改良、林道等) 七百七十四万円
- 七、学校プール建設(北郷小) 五百七十一万円
- 八、小学校整備(鹿谷小) 三千百八十九万円
- 九、中学校整備(中部中寄宿舎) 一千九百六十七万円
- 十、野向公民館建設 一千百六十八万円
- 十一、消防車購入 二百十六万円
- 十二、失業対策事業 六百八十八万円
- 十三、市有林造成 一千四万円
- 十四、災害復旧事業 三千二百二十万円

◆特別会計決算

国民健康保険など特別会計の収支決算の状況は第四表のとおりです。とくに土地区画整理事業会計は赤字となっておりますが、これは北部地区の保留地処分などにより解消することになっております。

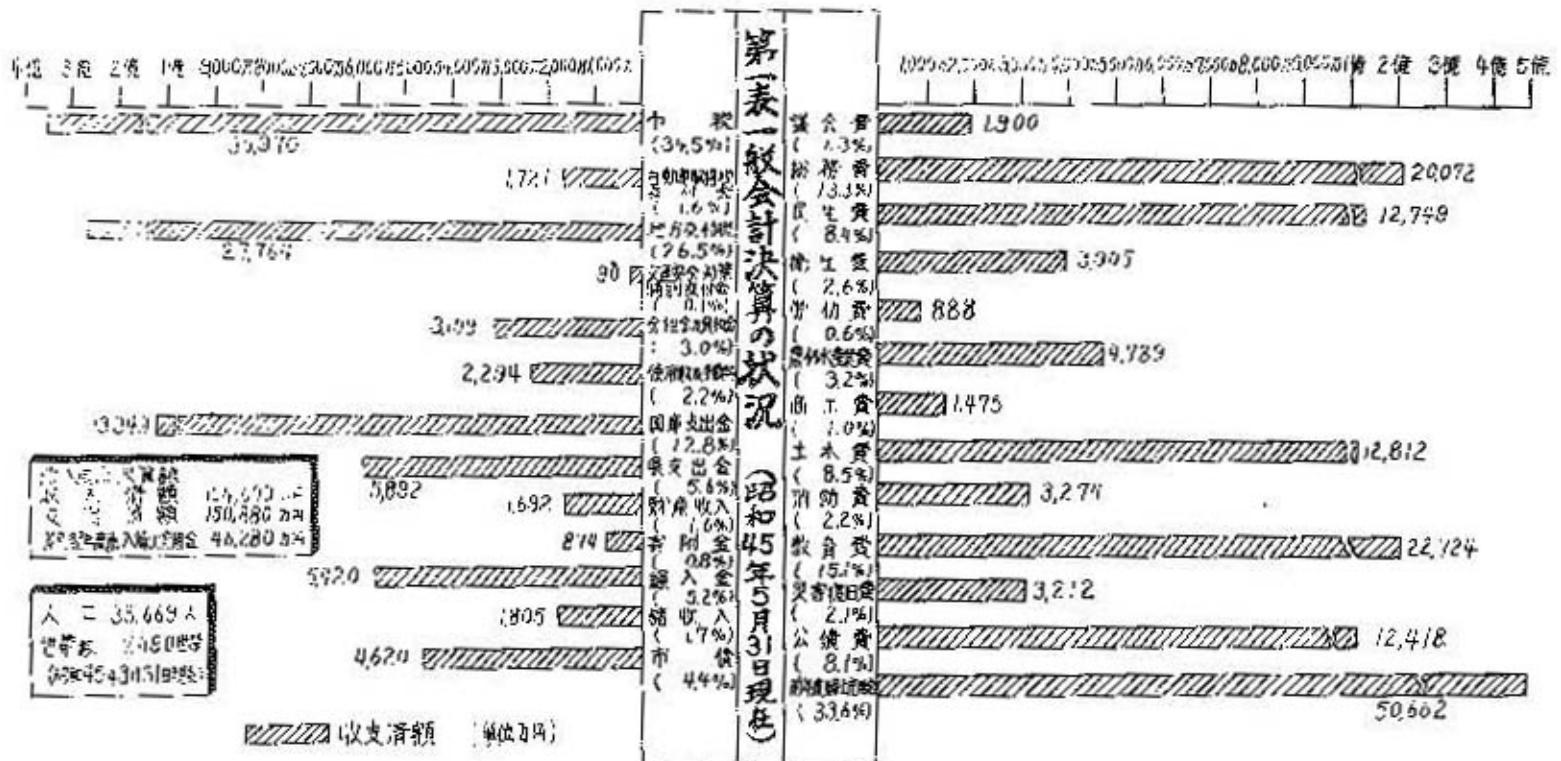
◆財産と公債

四十四年度末の市債総額は七億六千二百四十八万円で、うち一般会計分は五億六千八百二十二万で、

第一表 一般会計決算の状況

(歳入)

(歳出)



第二表 一般会計性質別決算の状況



前年度に引続いて物件費

◆経費の節減と効化率
課税計算、給与事務を電算センターに委託し、電子計算システムによる住民の記録管理を行うため基本事項を入かしたほか、行政事務の能率向上につとめました。

◆行政事務能率化、近代化

財政再建計画の実施状況
前年度末より若干減少していますその目的別、利率別、借入先別の内訳は第五表、また四十三年度末の市有財産の状況は第六表のとおりです。

財政再建のための資金(政府よりの借入金)は三月末に二千万円返済し現在は、四億五千万円となりこれは五十二年度までに計画的に返済することになっていきます。以上が市財政の現状ですが、今後ますます、市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。市政発展のための行政を積極的に進めたいと思います。

◆再建融資

◆赤字の解消
以上の結果、計画赤字解消額三千万円のほかに千三百八十二万円を超過解消し、特別交付税決定分四千五百八万円を財政調整基金として積立て四十五年以降の建設事業の財源にあてました。

◆建設事業の充実

等、冗費の節減をする一方道路、学校建物等維持補修を充実し、資金運用を適切に行ない一時借入金利子の節減をはかりました。

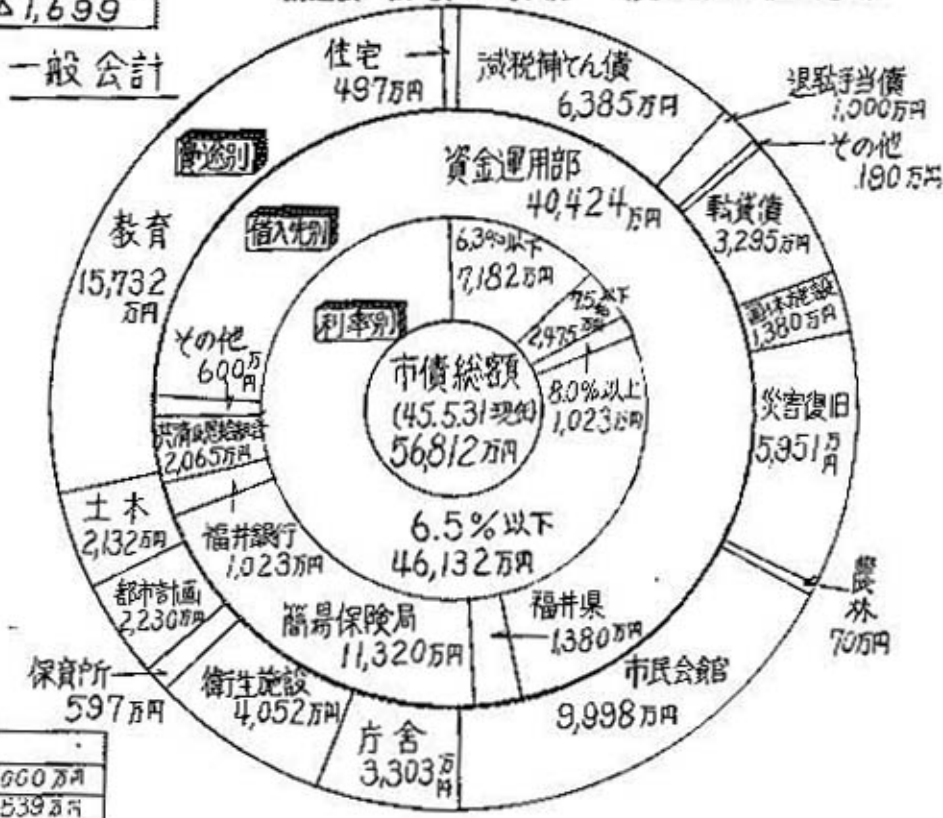
第四表 特別会計の予算及び収支の状況

区分	収入済額	支出済額	差引残高
市有林造成事業	2,754	2,754	-
土地区画整理事業	2,896	8,523	△5,627
簡易水道事業	376	365	11
国民健康保険事業	16,258	14,198	2,060
同僚道管診療所助成	733	732	1
水道事業	4,693	2,948	1,745
収益的収支	759	2,458	△1,699
資本的収支			

第三表 市税収入の状況



第五表 公債の状況 (費途 利率 借入先別)



特別会計

(単位万円)

会計別	現在高	借入先	利率
市有林造成事業	5,690	公債基金	3.5~5.0%
土地区画整理事業	2,150	公債基金	7.3%
簡易水道事業	2,780	福井銀行	6.5%
水道事業	8,816	福井銀行	6.5~7.6%

第七表 一時借入金の状況

(45. 8. 1 現在)

一般会計	45,000万円	資金運用部	
土地区画整理事業	539万円	貸付債	45,000万円
		銀行その他	539万円

左義長は日本の祭り

万博出演を機に盛りあげよう



勝山の左義長まつりは、さる七月二十八、九、三十日と万国博日本の祭りに出演し、万米の拍手と賞賛を浴び、いよいよ国際的な祭りとして認められました。これを機会に郷土の芸能、郷土の祭りを今後どのように保存し、次の時代へ伝えていくかは、私たち今日の市民の課題と言えましょう。

左義長まつりの保存、育成と今回新しく振り付けた左義長踊りの普及などのようにすればよい。万博出演にご協力いただいた代表者の方々にそれぞれの立場からご意見を寄せていただきました。これらの意見を参考に郷土芸能の振興をはかりたいものです。

一人一役での協力を

市長 山内 譲



勝山の左義長まつりもせつつかく立派な踊りができたのだから「越中おほら節」や「阿波踊り」のように大人も子供もこぞつて舞い、酔って町中を祭り一色に塗りつぶしたいものです。そして県内はもちろん全国から左義長見物の客をどつと集めたいと思っております。そのためには市でも資金や労力面でできるだけ援助をしたいと

思っていますが、市民のみならずも何か一つできることで役割を果たすつもりでの協力をお願いします

左義長祭りは市の主催で

市長公連合会長

古川正一さん



左義長まつりを勝山市一本とし市が主催者となり、全市民が協力するという方法が望ましいと思う。七年前の豪雪の時左義長ができたかった時神事だけを町一本で行

(順不同敬称略)

ないその後三年前から神事は旧町一本の形をとっているが、これは将来一本化するための前提であつて、市主催に切りかえるには、万博出演のこの機会をもつて最善のチャンスと思う。

無形の遺産は残る

万博出演運営委員会委員長 市産経委員長

白野齊次郎



一八五一年(嘉永五年)第一回 ロンドン博で人気を集めた水品宮

も移築後焼失し姿を消してしまつたが、同博の基金で作られた奨学金制度は今なお続いている。このように形あるものはなくなるが、無形の遺産は残る。

郷土の無形文化財左義長まつりも、費用や道路の使用緩和、開催時間の延長など市でもつとバックアップして市あげての郷土の祭りとしなければならぬ。また左義長踊りは冬は季節的に無理だから夏に旧町をあげて踊るようにし、青年団、婦人会の組織を醸して全市民に踊ってもらいたい。

郷土芸能は生きている

左義長ばやし保存会長

松島平五郎さん



県代表として万博に出場し感じたことは①郷土芸能は生きていた ②方言と郷土芸能はふるさとの手形である ③郷土芸能は故郷をはなれた人の心に郷愁をわかせるの三点である。万博出演三日目が終わった時出演者みんなの目に涙がにじんでいた。我々の祖先が生んだ民族的にも観光的にも立派な遺産をいかに守り育てるか、保存会としては次の三つのことに力を尽したい。

- ①左義長の普及と宣伝
- ②後継者の養成
- ③芸の向上

市民の熱意を

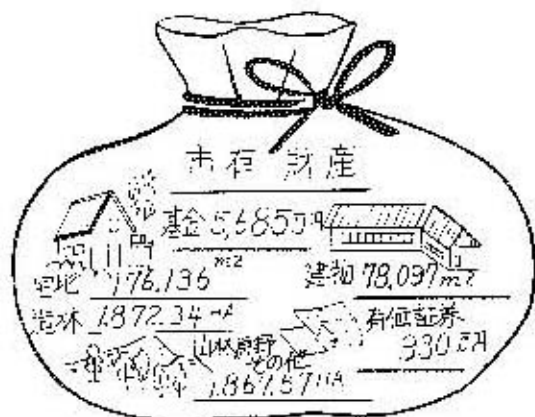
芸妓組合長

越居はつえさん



左義長祭りは冬なので寒すぎるから、もつと踊り易い、見物しやすい季節に踊り大会をやつてはどうでしょう。それに今まで町でも元祿は参加しなかつたが、せめて旧町全部が参加し、踊つてほしい。左義長の三味線もそれ程難しくないので素人の方も進んで練習されるとうい。また市としても養成して、全市の人にもつと熱を入れていただくとういと思います。

第六表 市有財産の状況

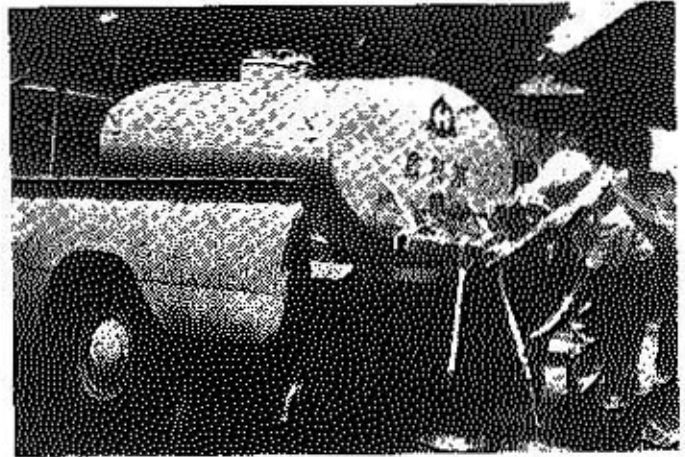


「水道の断水に備えて

購入をタンク水給

市水道課では、送水管の破裂などによる断水に備えて、新しく給水タンクを購入しました。昨年は七月と十月に送水管が破裂し、毛屋、高島、長山町地区一帯が断水になり、水道需要者の皆さんに大変ご迷惑をおかけしましたが、これからは、断水などの非常の場合も水が供給できることになりました。

タンクはアルミニウム製で長さ一、六メートル、幅一、二メートル、高さ七十二センチメートルの長円筒形、一方メートルの水が入ります。購入費は二十二万円で、



公害対策協議会 委員 きまる

最近各地で公害が発生し、大きな問題となつていますが、市内の公害発生を未然に防ぎ、市民生活を公害から守るため市公害対策協議会が設置されました。同協議会の委員は次のとおりです。

(敬称略、順不同)

- ▽ 関係行政機関代表
 - 津田元次(警察署長)、円法円占郎(土木事務所長)、河北環(保健所長)、伊藤四郎(奥越農業改善所長)
- ▽ 市議会代表
 - 長谷川義男(総務委員会)、林文右エ門(産業経済委員会)、山岸敏夫(教育民生委員会)
- ▽ 企業代表
 - 松田実也(建設業会長)、藤崎

勝山の織物業

<6>

産地形成期

◎北郷産地について
 一方、現勝山市には坂東島を中心とする北郷織物業産地がある。その発祥を探るに、当地は農作に恵まれず、山仕事が生体で、麻、桐、苧づくりやタバコ生産者らから、坂井郡森田町方面との(綿織物)交流が早く、企業化の初期は等川亀松、水上岩松、石井四郎平らが創業し、タバコ業者六、七戸、在り屋十五戸らが、明治末期織業に転業したものが多かった。

なかでも竹生文右衛門、松村治左衛門、石井四郎平らは「坂東島織物会社」を創設し(大正元年)動力化から坂東島鉄山の電力(明治四十四年)の利用によってモスリン・綿織物から経織物や羽二重(小巾もの)を生産し、大正三年頃には二〇工場を数えた。ここに推計ではあるが北郷産地の機業数の推移を見てみよう。(下二表)

◎蒸気精練
 明治二十四、二十五年頃勝山機業の草創期を迎えて街はバツタン機の産の首、羽二重で福けた初笑顔がチラホラする。この状況を反映して精練業が創業した。

明治	30年頃	3 戸
	40 "	7~10
大正	3 "	20
	9 "	5~6
昭和	5 "	25
	12 "	40
	18 "	25
	34 "	50
	45. 4	機 200 (2,600台)

明治二十四年鈴木棟工場(鈴木寅治)は和釜練りよりも蒸気精練こそ新時代への方法と逸早く着眼し、郡谷製糸場の蒸気利用の交渉に成功して開業した。明治三十九年四月、輸出羽二重精練業法公布を機会に翌年現在の福井精練加工(株)に合併した。

市政公聴員

市政公聴員の家の前に貼る表示板ができました。市民の皆さんからより広く市政に対するご意見やご要望をきくため、市政公聴員(モニター)が



方もありますので、よく知っていただくため市政公聴員の方の家の前に表示板を貼ることにしたものです。

表示板はタテ十八センチ、ヨコ十二センチ白地に紺の市章の下に市政公聴員と、黒で書いてあります。(写真のとおり)

明るく正しい選挙を

選挙熱の高まりにつれて悪質な報道や根拠のないいろんな「デマ」が飛んだりします。単なる「デマ」や策略に動かない明るく正しい責任のもてる一票を投じましょう。



市民の窓

「お答え」

当市の救急業務は昭和四十二年十月から、とりあえずジープや患者輸送車で始め、更に本年度からこれを本格化するため四十五年度予算に救急車購入費二百十万円(内国の補助金五十万円)を計上しました。ところが救急車については、毎年自動車工業協会や全国保険協会から国の消防庁を導

救急車はいっつ入るか

じて何台かの寄附があることがわかりましたので市長は何とかしてこれを当市にもらいたいと思ひ、県や中央に運動をつづけていましたところ最近それが因定し、救急車一台ただでもらえることになりました。このため少し遅くなりましたが近い内にお目みえし交通事故や急病人の救急に活躍することになりましょう。いましばらくお待ちください。

「おたすね」
救急車購入はいつごろに、なるのですか。



市政公職員
池田 幸雄
元町一丁目 三十六才

総務課長



お知らせ

*コーナー

防ごう伝染病や食中毒

伝染病や食中毒が発生しやすい季節です。健康をまもるために次のことを特に注意しましょう

- 一、食中毒を防ぐには：
 - ① 台所や調理場などは、常に清潔にして、通風をよくし、害虫の発生を防ぐ。
 - ② 食物がくさらないよう、保存には十分注意する。
 - ③ 化膿菌は食中毒を誘発しますので、手指などが化膿している方は、調理に注意してください。
- 二、伝染病を防ぐには：
 - ① 調理や食事前など、また、用便後の手洗いを励行する。
 - ② 家の周りは清潔にし、蚊、ハエ、ゴキブリ、ネズミの駆除につとめる



10月1日

国勢調査

円、勝山中一年七組 二千四百、中村初枝(昭和町一丁目) 五百四、勝山七ライオンズクラブ 六万七千円、成豊西小五年三組 一万八千三百五十円、手塚貞貞(笹尾) 二千

善意銀行

7月31日までに善意銀行へ預託されました方は次のとおりです。

- ◇ 現金口座
広田 務(伊波) 三十三円、市役所保険係一同 五百五十円、成豊西小五年三組 一万八千三百五十円、手塚貞貞(笹尾) 二千



福井と大野に

交換局が誕生

福井市開発地区と大野市上庄地区に新しく電話交換局ができました。

電話局

このため、福井市東部の電話全部がこの局に収容され、福井54局となり、また、大野市上庄地区の電話は大部分が大野4局となりました。今後これらの地域への電話は、ダイヤル「〇七七六―54局：番」「〇七七九六―4局：番」となりました。ご注意ください。

なお、福井54局、大野4局の臨時電話番号簿(無料)を発行しましたので、ご入用の方は勝山電報電話局へお申し出ください。

「公社に望む」意見募集

電電公社では創業百年を記念して「電電公社に望む」の意見募集を一般から募集しています。原稿の切りは九月中旬です。くわしいおたすねは電話①一〇〇〇番(無料扱い)営業係へ

くらしを豊かにする 簡易保険団体

簡易保険では、十五人以上の人が保険料をまとめて払込むと、月額保険料の七割が割引されます。また、簡保加入者十五人以上の団体が、共同のための設備をつくりたいというとき、月額保険料の三十倍まで、年六分の安い利率で融資されます。この貸付をうけて集会所などをつくり、明るく町づくりに役立っています。